

課題研究発表会

平成25年2月11日(月)堺市民会館小ホールにおいて「課題研究ⅡCOSMOS 宇宙・調和」選択生徒21名による課題研究発表会を開きました。

来賓(本校のSSH運営指導委員、連携研究室教授、同窓会関係者)16名、連携大学院生(TA)4名、本校1・2年生「課題研究」選択生徒の保護者21名、他高校の教職員・生徒11名、発表者21名、本校1年生「課題研究ⅠCHAOS 混沌」選択生徒31名、本校1年生「文理学科」生徒76名、本校卒業生3名、本校教職員25名、合計208名が参加しました。

放送部員が司会を務め、発表10分、質疑応答4分、入れ替え1分というスケジュールで進行しました。

内容

開会・挨拶(校長、教育委員会)の後、生徒による発表が行われました。

- 1 数学班 図形による数学
 - 2 生物1班 モンシロチョウの季節型に関する研究
 - 3 生物3班 グッピーの遺伝の研究
 - 4 化学1班 仁徳陵のお堀の水質調査
 - 5 物理班 自転車を倒れにくくする効果と構造
 - 6 化学2班 ゴムの加硫と弾性変化
 - 7 生物2班 プラナリアの異常眼に関する研究
 - 8 生物4班 シリブカガシ林
 - 9 化学3班 コバルトイオン溶液の変色
 - 10 海外ツアー班 オーストラリア・サイエンスツアーの報告
 - 11 招待発表 奄美大島のノイヌ・ノネコの食性調査(大阪府立豊中高等学校)
- 全ての発表終了後に校長・同窓会長による表彰、学識代表者による講評、そして教頭により閉会が宣言されました。

審査結果

最優秀賞・・・「モンシロチョウの季節型に関する研究」生物1班
「図形による数学」数学班

優秀賞・・・「シリブカガシ林」生物4班

山本良一記念奨励賞・・・「自転車を倒れにくくする効果と構造」物理班

来場者の方に「とてもよい」「よい」「あまりよくない」「まったくよくない」の4段階で評価していただきました。「とてもよい」「よい」の肯定的評価の合計は、説明のわかりやすさが78%、スライドのわかりやすさが87%、発表の内容が87%でした。

来場者アンケートより

- ・課題研究のレベルの高さに驚いた。同じ高校生とは思えない。
- ・おもしろい発表であった。発表に聞き入ってしまった。興味深い発表が多かった。
- ・去年に比べ、全体にのびのびと発表されていたと思う。
- ・とても充実した時間を過ごすことができた。
- ・どの班も内容が濃く、理解するのが難しかった。
- ・将来自分の目指したい分野についてその仕事をしたいという気持ちが強まった。
- ・高校生らしい、地域や生活に密着した研究が良かった。
- ・質疑応答における応対に好感が持てた。
- ・研究の苦勞がうかがえ、たのしく拝聴できた。
- ・諦めずにがんばることが大切だとわかった。
- ・すばらしい研究発表会であった。勉強になった。
- ・生徒たちにとって、とても良い経験になっていると感じた。
- ・研究内容がしっかり計画されていて良かった。
- ・SSHに興味を湧いた。



最優秀賞 「モンシロチョウの季節型に関する研究」の発表